

『旭町自治会だより 臨時号』

地域懇談会（令和元年7月23日）が行われました。その内容をお知らせします。

【テーマ 1】(問) 【交流人口を増やし、移住・定住につながる取り組みについて】

- 内容 * 京都府景観資産登録【丹波ニュー風土記の里・まほろば 亀岡川東】について、旭町民がウォーキング等でその良さを知る。「なごみの里あさひ」から「元明院」「松尾神社」「天照皇大神宮」「梅田神社」を巡るコース。将来的にはノルディックウォーカーやサイクリングコースに、さらには亀岡市全域を巡るトレッキングコースへとつなげていきたい。
- * 「なごみの里あさひ」をより多くの方に活用していただく。「感謝祭・収穫祭」はもちろん「月末 100円均一デー」等で広報する。さらには他地域での行事においても「なごみの里あさひ」の駐車場やトイレを活用していただき集客につなげたい。また、バス停のネーミングも「美濃田・なごみの里あさひ前」にできないか。
- * 自治会行事「納涼祭・運動会・文化祭」でもより多くの方が楽しめる工夫。
例：納涼祭で実施した「アートパラグライダー」によるセレモニーなど地元企業との協力を深める。

(回答) 亀岡市

地元発信の取組を市としても後押しする。また、移住・定住促進につながる取り組みもお願いしたい。とくに川東地域は多くの移住希望者があり「空き家対策」と合わせてよろしくお願いします。

【テーマ 2】(問) 【交通難民対策 「病院や買い物」へ行くにも足がなく行けなくなる。公共交通にだけ頼るのでなく、自分たちで助け合う方法を模索する。】

- 内容 * 3年～5年後を予測すると自分で運転するのが不安である。ふるさとバスやコミュニティバスを活用しながら、地域住民がお互い助け合って移動手段を工夫する取組を考える。

【高齢者免許返納について】

- * 地域の特色として自主返納してしまうと、日常生活に不便が生じなかなか返納しにくい実態がある。

(回答) 亀岡市

東別院町では、デマンド交通的な取り組みを行っている。市が助言をして運営している。車の導入や運営経費について亀岡市が補助金を出し、運転手の手配等については運営側が管理するシステムである。

ふるさとバスや京阪バスの運行回数を増加させることは費用対効果を考えると無理である。地元で様々な工夫をしていただき市としても支援していく。

亀岡市の西部地域（公共交通がない地域）では、まず実態調査を行いよりよい方策を考えようとしている。旭町でも亀岡市のモデルとなるよう支援していく。

テーマ 3 (問) 【境川の改修工事の進捗状況】

(回答) — 亀岡市 —

上流は京都府、下流は亀岡市と南丹市の工事と分けて考え、それぞれが対応している。下流域の改修工事計画はおよそ確定している。今後は京都府や南丹市と具体的な課題について協議し対応していきたい。地元の協力をお願いしたい。

(問) 【荒神河原下流の改修工事の進捗状況】

(回答) — 亀岡市 —

荒神河原下流の整備については、境川と同様に考えているが、京都府へ地元から要望書を提出してほしい。亀岡市も対応していきたい。境川が先行しているが、人的被害を想定したことである。御理解いただきたい。

(問) 【印地区の臭気対策について】

(回答) — 亀岡市 —

馬路町や河原林町においても臭気問題が課題となっている。畜産業における臭気対策は全国的にも問題になっている。現在、土づくりセンターでバイオによる消臭効果の実験に取り込んでいる。効果が確認できれば畜産農家にも使用を広げ、少しでも臭気が減る取組につなげたい。

テーマ 4 (問) 【カラスや鳥獣被害について。】

(回答) — 亀岡市 —

昨年度の懇談会において、多くのカラス被害の実態を聞き、カラス撃退機を実験的に設置した。ある程度の効果が認められたので、今年は数台を購入してさらに長期間の実証実験を行いたい。

テーマ 5 (問) 【生徒たちの通学道路になっている 477 号について防犯灯や街路灯がない。】

後期課程の生徒がクラブ活動等で帰りが遅くなると危険を感じる、改善をお願いしたい。保護者は通学路変更のことも視野に考えている。】

(回答) — 亀岡市 —

通学路変更については、学校と保護者が危険を点検し協議の上、変更は可能。決定後に教育委員会への届出が必要となる。

防犯灯設置については、順次設置予定である。街路樹についても、順次撤去を考える。